



おおにしの笑顔

第2号 令和2年5月8日 文責 恩田

- ① もいやりのある正しい子
- ② おきな声であいさつする子
- ③ んたい強くかしこい子
- ④ っかり体をきたえる子

休校中の取組へのご協力に感謝申し上げます

4月の休校中は、担任が各ご家庭に電話連絡をしたり、児童館や各ご家庭に伺い課題やお便り・町から支給のマスク等の配付を行ったりして、子供たちとの繋がりを続けてまいりました。校長の私も3カ所の児童館（学童室）を数回巡回し、学童の子供たちの様子を見守りました。子供たちと会えた時は私たち職員は非常に嬉しく思い、また安心しました。伺った時にお子さんと会えなかったご家庭には、電話連絡をさせていただいてきました。

その中で、お子さんによって、課題の取組状況（提出状況）に大きく差ができてしまうことを懸念しています。ずっと家の中にいるために、生活が不規則になったり、子供だけでは学習に向かう意欲もなかなかわかないという状況もあると思います。

そこで、5月は、週に1回保護者の方とお子さんと一緒に学校に課題を取りに来ていただくことにしました。これは、子供たちに「学校に来る」という刺激を与えることにより、規則正しい生活への意欲や学習への意欲を高めたいという意図が



あります。人との接触が制限されているので、せめて「学校の建物、教室という空間」に触れる機会を設け、学校に通っていた時の感覚を思い出させたいのです。また、全員の子供たちの課題への取組を確認し、可能な限り学習の支援をしていきたいのです。来校の際は、取り組んだ課題を封筒に入れてご持参ください。学校ではできる限り感染予防のための配慮をしてお待ちしております。

なお、学校職員は子供たちに会えばとても嬉しく思いますが、こちらからは必要最小限の声かけをすることになると思います。お子さんから学習の質問等あればもちろん応対いたします。保護者の方もお子さんのことをご相談等ありましたら、遠慮なく職員にお声がけください。

配付する課題は

休校中に配付する課題は、「学校の授業内容を自主的に学べるように」と、職員が懸命に考えて用意しました。お子さんによっては今まで以上にご家庭での見守りや声かけ、支援が必要になってくるかと思えます。ぜひお子さんに寄り添って学習を見守り、励まし、〇付け等のご協力をお願いいたします。

様々な自粛要請が長引く中、不自由な生活にご家族の皆様にも疲労が重なっていることと思えますが、子供たちのためにご協力をお願いいたします。

※5/11,12に配付する課題と一緒に、文部科学省から小学校児童に支給された「布製マスク1枚」を配付します。

※今後も状況によって予定が変更されることがあります。連絡メールや学校HPで最新の情報を確認するようよろしくお願いいたします。



ありがとう！ 新型コロナウイルスと闘っている
医療従事者をはじめとするすべてのみなさんにエールをおくろう！

この未曾有の国難を、学校・家庭・地域みんなで理解し合い協力して乗り越えていき、子供たちの笑顔を守りたいと強く願っています。

